

水産総合研究センターによる水産物ストロンチウム調査結果

水産庁が、独立行政法人水産総合研究センターに依頼して行った水産物のストロンチウムの測定結果は次のとおりです。

No	魚種	採集地点	採取日	公表日	検査結果(単位:ベクレル/kg)					備考
					ストロンチウム-89	ストロンチウム-90	セシウム-134	セシウム-137	ヨウ素131	
1	マイワシ	35° 36' N 140° 53' E	平成23年4月6日	平成23年6月28日	—	検出限界未満 (検出下限値:0.04)	4.4	4.1	4.9	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
2	イカナゴ	36° 23' N 140° 39' E 周辺	平成23年4月8日	平成23年6月28日	—	検出限界未満 (検出下限値:0.02)	38	43	598	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
3	イカナゴ	36° 23' N 140° 39' E 周辺	平成23年4月12日	平成23年6月28日	—	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	33	33	397	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
4	カタクチイワシ	35° 22' N 140° 54' E	平成23年4月14日	平成23年6月28日	—	検出限界未満 (検出下限値:0.04)	3.8	4.1	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
5	マダラ	37° 38' N 141° 33' E	平成23年4月21日	平成23年8月30日	検出限界未満 (検出下限値:0.04)	0.03 (検出下限値:0.03)	16	18	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
6	アカガレイ	36° 28' N 141° 00' E	平成23年4月22日	平成23年8月30日	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	1.5	1.8	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
7	カタクチイワシ	35° 21' N 140° 30' E	平成23年5月26日	平成23年8月30日	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	7.2	10.0	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
8	マイワシ	36° 03' N 140° 47' E	平成23年6月22日	平成23年8月30日	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	8.2	11.0	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
9	ゴマサバ	35° 45' N 141° 18' E	平成23年7月1日	平成23年8月30日	検出限界未満 (検出下限値:0.04)	検出限界未満 (検出下限値:0.03)	1.1	3.4	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムとヨウ素が筋肉
10	シロメバル	37° 13'N 141° 2'E	平成23年12月21日	平成24年3月9日	0.45	1.2	390	580	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムが筋肉
11	ムシガレイ	37° 15'N 141° 13'E	平成23年12月21日	平成24年3月9日	検出限界未満 (検出下限値:0.05)	0.094	16	24	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムが筋肉
12	ゴマサバ	37° 15'N 141° 13'E	平成23年12月21日	平成24年3月9日	検出限界未満 (検出下限値:0.04)	0.03	2.9	4.2	検出限界未満	測定部位はストロンチウムが魚体丸ごと、セシウムが筋肉
13	イシカワシラウオ	37° 12'N 141° 1'E	平成24年1月18日	平成24年5月11日	検出限界未満 (検出下限値:0.09)	0.4	18	29	検出限界未満	測定部位はストロンチウム、セシウム共に魚体丸ごと

注1: No.5及び10~13のサンプルは、操業が自粛されている福島県沖において、(独)水産総合研究センターが試験操業により採取したものであり、市場に出回ることはありません。

2: 文部科学省「環境放射能データベース」による2000年から東京電力福島原子力発電所事故発生以前の2010年までの我が国周辺海域の魚類中のストロンチウム90の濃度は、検出下限値以下～0.094Bq/kgの範囲でした。